

●巻頭インタビュー

震災と多文化共生

～外国人の視点から東日本大震災を
ふりかえる～



J.F.モリスさん
オーストラリア出身
宮城学院女子大学教授
多賀城市在住

——親しみを込めて「モリス先生」とお呼びしますが、これまでも私たちMIAはたいへんお世話になってまいりました。ですが、その割にはモリス先生のバックグラウンドについてはあまり存じ上げていないかもしれないと思い至りまして、まずはその辺からお伺いしたいと思います。

私は、オーストラリアのシドニーから真西に360kmほどのナラマインという小さな町に育ちました。7人兄弟の5番目です。小学校6年生の時にシドニーに転居しまして、大学卒業までいました。

——日本語との出会いはどうだったのでしょうか？

高校生のときはフランス語の勉強が好きでした。でも、それでは食べていけないということで、最初は法学部を志望し、弁護士を目指すつもりでした。そんな時、申し込んでいたことも忘れかけていたのですが、オーストラリア国立大学の「アジア文化学部」から奨学金が出るという通知が届き、あっさりそちらに鞍替えしました。そこは「アジア文化学部」ですからアジア諸国が対象だったわけですが、「食うため」に経済発展目覚ましいらしい日本を学んでおけば間違いはないといった程度の認識で選びました。ですので、日本語と同時に「経済」「経営」も専攻したのですが、そちらはすぐに向いていないことを悟り、「日本史」を専攻しました。

——日本語の学習は順調でしたか？

日本語を必ずしも最初から楽しく勉強していたわけではありませんが、外国語を学ぶことは面白かったです。大学2年の冬休みに2か月のホームステイもいまとなるとは懐かしいです。

——オーストラリア国立大学を卒業されてからはずっと宮城ですか？

当時の文部省の国費留学の試験に合格したので、大学卒業後に東北大学に留学しました。その後、アメリカで一時日本語教師をしていたこともありますが、ほぼずっと宮城に住んでいます。

——さて、それでは本日の核心部分の震災と外国人についてお伺いします。モリス先生は昨年12月に画期的なパネルディスカッションを開催されましたが、それについてご説明をお願いします。

昨年の震災以後、「外国人」を巡る報道はかなり偏っていたと言わざるを得ません。「日本を捨てて逃げだした」、「災害弱者として支援を必



昨年12月開催のパネルディスカッション「3.11 私たちも共に震災を乗り越えた～「外国人」県民の視点から震災後の宮城と日本の多文化共生を問う～」では、登壇した韓国、中国、フィリピン、アメリカ出身者から様々な体験と活発な意見が語られました。

要としているはずだ」、「避難所で差別されているはずだ」などなど。実際には、日本に残って日本人とともに復興に尽力した(している)外国人もたくさんいます。ですので、私たち外国人自身が直接メッセージを発信しなければ、この誤解はずっと続いていくし、ひいては宮城の多文化共生にも悪影響が生じると考えました。

——実際、開催されてみていかがだったのでしょうか？

「外国人なのになぜ日本を逃げ出さなかったのか？」という質問は実に愚問です。「外国人」というのは私たちの属性の一つに過ぎません。私たちは、宮城県民であり、多賀城市民であり、配偶者であり、親であり、職場の職員であり、地域社会の一員でもあります。ですから、「外国人」だからということだけですべての関係を断ち切って逃げ出せるはずがないのです。また、あるパネラーが「私だけが特別なことをしたわけでもなく、むしろ私より頑張っていた人々がたくさんいたのに、外国人だからというだけでメディアに取り上げられ、これまでになく自分が外国人だということを実感しました」といった発言も印象的でした。「日本人⇄外国人」という単純な二分法に傾くのは他地域から来た人々で、被災地には「被災者」か「被災していない人」の区別しかなく、「外国人」だからと区別されるようなことはありませんでした。

——今後の展望についてお考えをお聞かせください。

分かりません。というのは、多文化共生を社会から切り離して考えることができないからです。例えば、水産加工現場などにたくさんいた低賃金労働者としての研修生や日本人と結婚した外国人配偶者の問題は、社会が生んだ状況でもあるわけで、被災地の状況が刻一刻と変化している今、その行きつく先を想像するのは困難です。ただ、宮城県が抱えている諸々の問題という観点から見れば、今回の震災は時計を20年進めたということではできると思います。

いずれにしても、外国人にとって云々ではなく、だれにとっても良い社会、それは透明性だったり、機会均等だったり、敗者復活の仕組みだったりしますが、そういった社会が構築されることを願います。

また、外国人支援も外国人として際立たせるようなやり方ではなく、必要なことを必要なだけ支援する形が望ましいですね。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2012年4月～5月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2012	4	S	M	T	W	T	F	S	5	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13	14	15
	15	16	17	18	19	20	21		22	23	24	25	26	27	28	29
	29	30							27	28	29	30	31			

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

ホームページ

4月 APRIL

4・5月 毎週金曜

国際語エスペラント講座 塩釜教室

- 仙台エスペラント会
- 塩釜市港町2-3-11 ビルドスペース
- 12:30～13:30
- 電話・FAX・Eメール
- 初回無料、継続はテキスト代等要
- 080-3198-4818(ビルドスペース)
- FAX 022-389-1620(手塚)
- esperanto@goo.jp
- http://www.birdoflugas.com

4・5月 毎土日曜日

瑞巖寺ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 瑞巖寺
- 10:00～15:00
- 不要(直接瑞巖寺にお越し下さい)
- 無料(但し拝観料は各自負担)
- http://www.geocities.jp/matsushimagw/

4・5月 毎日曜日

円通院ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 円通院
- 10:00～15:00
- 不要(直接円通院にお越し下さい)
- 無料(但し拝観料は各自負担)
- http://www.geocities.jp/matsushimagw/

1日

無料フランス語入門レッスン付

- オープンキャンパス&フランス古本市
- 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
- 仙台市青葉区本町二丁目8-10 4F
- 11:00～16:00
- 不要
- 無料
- 022-225-1475
- FAX 022-225-1407
- contact@alliancefrancaise-sendai.org
- http://alliancefrancaise-sendai.org

3日

CCE花バザー

- 地球の子ども通信(CCE)
- 理事宅
- FAX 022-376-5382

7日

Festival Indonesia(Festina)2012/
インドネシアの祭り2012

- 在日インドネシア留学生協会東北支部
- 仙台市青葉区五橋2-12-2
- 仙台市福祉プラザふれあいホール
- 18:30～21:00
- Eメールまたは電話
- 1,000円

- 090-2988-0647
- ppisendai@gmail.com
- http://festina.ppisendai.org

8日

- 第38回地球の子ども通信国際交流事業
- 「日本の子ども達によるシンガポール10日間ホームステイプログラム」報告会
- 地球の子ども通信(CCE)
- 仙台市桂市民センター第一会議室
- 10:00～12:00
- FAX 022-376-5382

9日

MIA日本語講座初級1・2

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 宮城県仙台合同庁舎7F
- 10:00～12:00(9日はクラス分けテスト。以降毎週火～金。7月20日まで)
- 電話・FAX・Eメール
- 16,500円(教材費別途)
- 022-275-3796
- FAX 022-272-5063
- mail@mia-miyagi.jp
- http://mia-miyagi.jp/

10日

MIA日本語講座夜間初級1・2

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 18:30～20:30(毎週火曜日。9月25日まで)
- 12,000円(教材費別途)
- ※4月9日に同じ

11日

MIA日本語講座中級

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 13:00～15:00(毎週水・木。7月19日まで)
- 8,400円(教材費別途)
- ※4月9日に同じ

13日

MIA日本語講座漢字1・2

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 13:00～15:00(毎週金曜日。9月28日まで)
- 7,200円
- ※4月9日に同じ

14日～5月13日

チエリー・ジラル写真展『轟音と静寂の後で』

- 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
- せんだいメディアテーク(共催)
- せんだいメディアテーク 7F
- 不要
- 無料
- ※4月1日に同じ

17～29日

桜井ひろ子ネパール写真メッセージ展「今ここから」

- 桜井ひろ子写真展実行委員会
- 宮城県美術館県民ギャラリー①
- 無料
- FAX 022-241-8297

17日

セリア・ウダール講演会「背景の前で書く」
(フランス語/日本語逐次通訳あり)

- 東北大学高等教育開発推進センター
- 東北大学川内北キャンパスマルチメディア棟4階M401
- 16:30～18:00
- 要
- 無料
- 022-795-7551
- FAX 022-795-7647
- caheoffice@he.tohoku.ac.jp
- http://www.he.tohoku.ac.jp

18日

楽しい日本語講座

- わたり楽しい日本語講座
- 巨理町中央公民館
- 毎週水曜日10:00～12:00
- 教材費
- FAX 0223-34-3036(沼辺)

申請取次行政書士による外国人のための入管
手続無料相談会

- 宮城県行政書士会
- 仙台市青葉区役所 4階市民相談室
- 13:00～16:00
- 電話受付又は予約なしでもOK
- 無料
- 022-261-6768
- FAX 022-261-0610

20日

日中友好植林訪中団(吉林省長春市九台生態保護
林建設事業)派遣

- 宮城県日中友好協会
- 中国吉林省長春市九台(旅順・北京も訪問)
- 4月20日(金)～4月24日(火)
- 宮城県日中友好協会または河北新報トラベル
- 128,000円(2名1室、空港使用料・燃油サーチャージは別途)
- 022-274-3811(県日中)、022-211-6960(河北トラベル)
- FAX 022-274-3811(県日中)、022-723-4672(河北トラベル)
- jcfca-miyagi@rose.plala.or.jp
- http://www16.plala.or.jp/miyagikenn/

21日

韓国料理教室

- (お弁当つくり)海苔巻とヤンニョムチキン)
- 韓国料理チーム仙台
- 仙台国際センター研修室
- 11:00～13:00
- 要事前申込み
- 500円
- 080-5009-4181
- FAX 022-342-0158
- kimuchiseoul548@hotmail.com

お知らせ

倶楽部MIAの最新号およびバックナンバーはMIAのHPでもご覧いただくことができます。
URL : <http://mia-miyagi.jp/publication.html#mia>

22日

お花見会

- 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
- ※後日HPにて告知いたします
- 要予約
- 無料 ※一人一品持寄り
- FAX ※4月1日に同じ

歩いて巡る地域歴史散策～仙台の三十三観音巡り第2行程12番～25番札所～

- NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 集合場所:みやぎNPOプラザ前(榴岡)
- ※参加申込の方には詳しくご案内致します。
- 8:45集合 9:00出発～15:30頃解散
- 電話・FAX・Eメール(保険をかける都合上、事前に予約が必要です)
- 一般2,500円 会員2,000円(保険・小冊子込)
- 022-261-9869
- 022-261-0546
- eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
- <http://www.eikaiwa-usaclub.jp/rakuyuu.html>

26日

- ようこそ、エスペラントへ
- 仙台エスペラント会

- 仙台市民活動サポートセンター研修室5
- 18:30～20:30
- 不要
- 無料
- 022-376-5641
- esperanto@goo.jp

5月 MAY

6日

- 歩いて巡る地域歴史散策～仙台の三十三観音巡り第3行程26番～33番札所～
- NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 集合場所:①JR南仙台駅前②第31番札所内
- ※参加申込の方には詳しくご案内致します。
- 8:45集合 9:00出発～16:00頃解散
- FAX ※4月22日に同じ

16日

- 申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会
- 宮城県行政書士会
- FAX ※4月18日に同じ

17日

- タンザニア・マサシの逞しいママたち・子どもたち
- アフリカ・セミナーの会
- 仙台国際センター研修室
- 10:00～12:00
- 不要
- 700円
- 022-362-7907

19日

- 韓国料理教室(ブルコギ)
- 韓国料理チーム仙台
- FAX ※4月21日に同じ

20日

- CCEチャリティバザー
- 地球の子ども通信(CCE)
- 理事宅
- 10:00～15:00
- 022-376-5382



JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

平成24年度春募集「体験談&説明会」開催のお知らせ

「体験談&説明会」では、JICAボランティア経験者の体験談発表が予定されているほか、JICA職員との個別応募相談、要請の詳細情報などの資料閲覧が可能です。宮城県での開催は以下のとおりです。お申込み不要、入場無料、入退場自由ですので、どうぞお気軽にお越しください。会場はいずれも、仙台第一生命タワービル11階(仙台市青葉区一番町4-6-1)です。

詳細はJICA東北ホームページ

<http://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/volunteer/setsumei.html> をご覧ください!

平成24年度JICAボランティア春募集期間

募集期間:4月1日(日)～5月14日(月)

※JICA東北やJICA宮城デスクにて個別対応をいたしますので、JICAホームページにてご確認の上、お気軽にお問い合わせください。
JICAホームページ▶▶<http://www.jica.go.jp/>

■青年海外協力隊平成24年度春募集「体験談&説明会」

(青年海外協力隊へは20-39歳の方が応募できます)
日時:(2回とも概ね同内容)

●4月8日(日) 14:00-16:00 ●4月22日(日) 14:00-16:00

■シニア海外ボランティア平成24年度春募集「体験談&説明会」

(シニア海外ボランティアへは40-69歳の方が応募できます)
日時:(2回とも概ね同内容)

●4月8日(日) 10:30-12:30 ●4月22日(日) 10:30-12:30

国際交流事業等助成金のご案内

●助成対象事業

営利等を目的としない次に掲げる事業

- 県内で開催する次に掲げる国際交流事業
 - 地域住民の国際理解を深めるための普及啓発事業
 - 地域住民と在県外国人等との交流事業
 - 友好親善関係等を軸とした外国人と地域住民との友好交流事業
- 外国において、本県の優れた文化等を広く紹介するとともに、外国人と交流を図ることを目的として実施する事業
- 開発途上国等の地域住民に対して行う各種の協力・支援事業
- その他、地域の国際交流・協力の推進に寄与すると認められる事業

●助成対象者

- 目的、組織、代表者など団体の運営に必要な事項について定めがあり、かつ、原則として1年以上の活動実績があるもの。
- 県外に主たる事務所を有し、県内ではその支部組織等が活動している国際交流団体等(以下「支部組織等」という。)で、当該支部組織等の運営に必要な事項について定めがあり、かつ、1年以上の活動実績があるもの。

●受付期間

助成対象事業の実施時期	受付期間
4月1日～5月31日の間に開始する事業	2月1日～3月10日
6月1日～7月31日 //	4月1日～5月10日
8月1日～9月30日 //	6月1日～7月10日
10月1日～11月30日 //	8月1日～9月10日
12月1日～1月31日 //	10月1日～11月10日
2月1日～3月31日 //	12月1日～1月10日

●参考(平成23年度交付実績)

■Sendai at a Glance Vol.12発行【グループ虹】■Foot Path 歴史散策・SENDAI・観音巡りと地域住民との交流【NPO法人楽遊ネットワーク宮城】■国際交流を通じて「高めよう防災意識」【東北地区韓国人留学生会】■ペルーフェスタ「ペルー食と文化の祭典」【東北ペルー協会】■第3回北宮城英語朗読コンテスト【北宮城英語朗読コンテスト実行委員会】■第40回仙台YMCA国際青年クリスマス【財団法人仙台YMCA】





このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 E-mail mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

公益財団法人への移行について

このたび、当協会は平成24年3月に宮城県の認定を受け、平成24年4月1日、公益財団法人に移行しました。

また、移行に伴い、「**公益財団法人 宮城県国際化協会**」と改称(旧名称「財団法人 宮城県国際交流協会」)しました。
今後ともみなさまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ルーク・ハップルの本当はおいしいイギリス料理教室in七ヶ浜

去る2月26日、MIAと七ヶ浜国際交流協会共催による「ルーク・ハップルの本当はおいしいイギリス料理教室」が、七ヶ浜国際村で開催されました。この料理教室は、イギリス出身で国際交流員のルークさんが得意の料理で地域の方々と楽しく交流することを目的に当協会が企画し、これまで大崎市岩出山、亶理町、栗原市若柳、松島町、利府町にて各地域の国際交流協会の協力を得て開催してきました。昨年度最後の開催地となった七ヶ浜町は津波被災地であることから、被災された方々を元気づけることを目的に実施し、仮設住宅で生活している方を含め15名の参加者のみなさんと一緒に、ローストビーフとゆで野菜盛り合わせ、ローストポテト、毛布巻豚ちゃん(ソーセージにベーコンを巻きオープンで焼いたもの)を作りました。参加された方の中には、仮設住宅で生活している方もいらっしゃいます。参加者からいただいた感想をご紹介します。

- 今日はすてきな企画ありがとうございました!!仮設に住んで一年が経ち、あまりイベントにも参加していなかったのですが、本当に今日は楽しい1日を過ごすことができ、とても感謝しております。このようにいろんな人達と知り合えて素晴らしい料理を教えて頂いてよかったです。
- とても美味しかったです。調理法にもびっくりしました。普段あまりなじみのないイギリス料理ですが、今度トライしてみようと思います。



MIA日本語講座2012春コース開講!

4月からMIAの日本語講座春コースが始まります。身近に日本語を勉強したい外国人がいらしたら、ぜひご紹介ください。多言語(日英中韓)のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	テキスト	受講料	定員
初級1・2	火～金	10:00～12:00	4月10日(火)～7月20日(金) ※4月9日(月):クラス分けテスト	『みんなの日本語初級I』 『みんなの日本語初級II』	16,500円 ※テキスト代別	各20人
中級	水・木	13:00～15:00	4月11日(水)～7月19日(木)	『みんなの日本語中級I』	8,400円 ※テキスト代別	20人
漢字1・2	金	13:00～15:00	4月13日(金)～9月28日(金)	毎回プリントを配布します。	7,200円	各20人
夜間初級1 夜間初級2	火	18:30～20:30	4月10日(火)～9月25日(火)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	12,000円 ※テキスト代別	各15人

サポーターの声

遠藤 淳子さん MIA日本語サポーター



2010年7月から始まった「MIA 日本語おしゃべりひろば」に参加しています。
ここで私は、外国人の皆さんと小グループやマンツーマンで楽しくおしゃべりをしながら、日本語によるコミュニケーション能力を高めていくためのお手伝いをしています。
最初の頃は、私の緊張が学習者にも伝わってしまう程でしたが、回を重ねるごとにコミュニケーションする事のうれしさや楽しさを実感しています。同時に、学習者の皆さんとのふれあいの中で、日本語という言葉、また日本の文化についても私自身が再発見する事が多くあり、大変勉強になります。
MIAで日本語を学習している皆さんは、いつも明るく、本当に一生懸命です。その姿から私もいろいろな事を学びながら、これからも日本語習得のためのお手伝いを続けて行きたいと思っています。

「MIA日本語サポーター」とは…

日本語を学習したい外国の方等のために個人指導という形で日本語を教え、外国の方等の快適な生活を支援することにより、県内の草の根交流を推進していくものです。登録者は随時募集中です。MIAまでお問い合わせください。

賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人の輪を広げるために、皆様の御理解と御協力を求めています。

●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

●賛助会員の区分と年会費

個人会員 / 1口 3,000円
団体会員 / 1口 10,000円

●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)
◎「MIA多言語から版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加者の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 (株)ジェイティービー 仙台支店 (株)ジェイティービー 東北石巻支店 宮交観光サービス(株) (株)日本通運 仙台旅行センター

●入会方法

◎本協会あて御連絡ください。
◎所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.60

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/